

新興国レポート

ブラジル：大統領選挙を左右する政見放送

- ブラジル大統領選挙では、8月31日から始まるテレビおよびラジオによる政見放送が世論の方向性を大きく左右へ。
- 14年の選挙では、急浮上したマリナ・シルバ氏への批判がテレビ放送で展開され、シルバ氏は第一回投票で敗北。
- 今回の大統領選挙では、ボルソナロ氏やシルバ氏はテレビ放送の持ち時間が特に短く、選挙戦の苦戦が予想される。
- 左派陣営は分裂・弱体化の傾向にあり、中道政党がアルキミン氏擁立で結束すれば、アルキミン氏の優位性高まる。

テレビの政見放送が大統領選挙戦のカギを握る

ブラジルの大統領選挙戦において、世論の方向性を大きく左右するとみられているのが、8月31日から始まるテレビ・ラジオでの政見放送です。政見放送は火曜日、木曜日、土曜日の週3回、テレビとラジオで1日2回ずつの放送が実施され、特に午後8時30分のプライム・タイムに放送されるテレビ放送の影響度が大きいとされます（図1）。

放送時間の配分は、10%は各候補に均等配分され、残り90%は候補者の所属政党（連立政党含む）の下院議席数に応じて比例配分されることから、政見放送は大政党の候補者に有利に働くと考えられています。

テレビ放送は14年の大統領選挙にも大きく影響

前回2014年の大統領選挙でも、テレビの政見放送が選挙戦の行方に大きな影響を及ぼしました。

2014年の大統領選挙は、当初、労働者党（PT）のジルマ・ルセフ候補とブラジル社会民主党（PSDB）のアエシオ・ネベス候補の二強の争いになるとみられていました。ところが、大統領選挙への出馬を表明していたエドゥアルド・カンポス氏（ブラジル社会党、PSB）が2014年8月13日に飛行機事故で死亡したことを受け、当時、カンポス氏の副大統領候補であったマリナ・シルバ氏が大統領選挙の第三候補として急浮上しました（8月29日の世論調査でシルバ氏の支持率はルセフ氏と拮抗する34%へ急上昇、図2）

これに対して、テレビ放送時間で優位に立つルセフ陣営とネベス陣営が政見放送でシルバ氏を批判するネガティブ・キャンペーン（*）を展開したことで、シルバ氏の支持率は失速し、10月5日の第一回投票においてシルバ氏は得票率第三位（21.32%）で敗退する結果となりました。

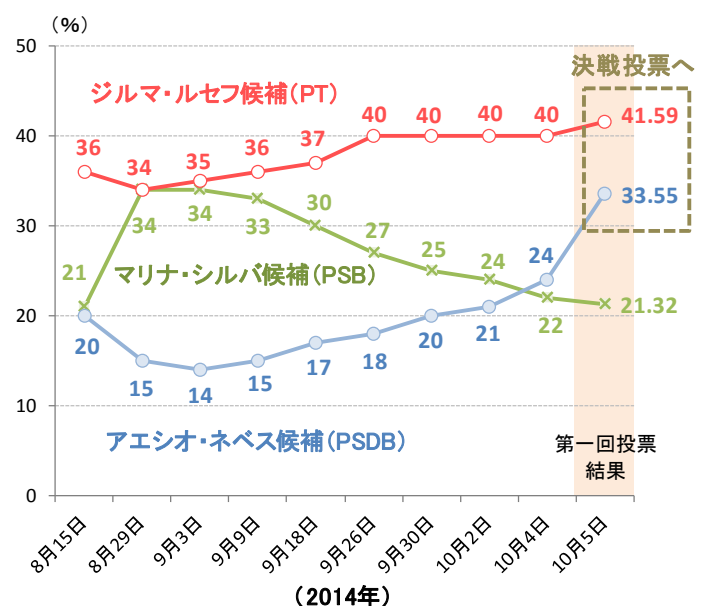
(*）誹謗中傷により対立候補をおとしめる戦略

図1：ブラジル大統領選挙での政見放送の概要

期間	8月31日～10月4日		
放送日	毎週火曜日、木曜日、土曜日		
放送開始時刻	メディア	第1回目放送	第2回目放送
	ラジオ	午前7時	午後12時
	テレビ	午後1時	午後8時30分
放送時間	テレビ・ラジオそれぞれ1日当たり25分 (1回当たりの放送時間は12分30秒)		
時間配分	放送時間の10%は、各候補に均等配分		
	残り90%の放送時間は、各候補の所属政党 および連立政党の下院議員数の合計 (最大6政党まで)に応じて比例配分		

(出所) ブラジル選挙法、ブラジル選挙高等裁判所（TSE）
(注) 10月7日の第一回投票までの政見放送。

図2：2014年の大統領選挙での主要候補の支持率



(出所) 世論調査会社Datafolha、TSE

ボルソナロ氏とシルバ氏はテレビ放送で苦戦か

今回の大統領選挙では、主要候補のテレビ放送時間を所属政党の下院議席数から推定すると、PTのルーラ氏が3分14秒と最も長く、次いでPSDBのアルキミン氏が2分37秒と続いています（図3）。世論調査の支持率で上位にあるボルソナロ氏（PSL）やシルバ氏（REDE）は、所属政党の規模が小さいためテレビ放送時間がとりわけ短く、テレビ放送開始後の選挙戦では苦戦が予想されます。

中道政党が結束すればアルキミン氏が優位に

一方、その他の主要政党の中では、テレビ放送での持ち時間が長い中道～中道右派政党（MDBを筆頭にテメル政権の中核を占める政党）は、現時点で最終的な候補者を絞り込めていない模様です（図4）。

今後、7月20日～8月5日の各党の党大会において、中道～中道右派政党が政策方針の近いPSDBのアルキミン氏を統一候補とすることで結束すれば、アルキミン氏はテレビ放送の面で優位に立つ可能性が高まりそうです。

ルーラ氏を除くと左派陣営は分裂・弱体化の傾向

また、左派陣営の最有力候補であったルーラ氏（PT）は、控訴審での有罪判決を受けて逮捕・拘留中であり、大統領選挙への出馬は事実上困難とみられています。

カリスマ性の高いルーラ氏を除くと、左派陣営は分裂・弱体化の傾向にあるようです。仮にルーラ氏が不出馬となれば、ルーラ氏への支持票はPTの代理候補（ハダジ前サンパウロ市長など）やゴメス氏、シルバ氏などに割れる可能性が高いとみられています。

16年の市長選挙で国民の多くは中道政党を支持

実際、2年前の2016年10月に実施されたブラジルの市長選挙では、PTを始め左派は大敗を喫し、国民の多くはPSDBを中心とした中道政党への支持を選択しました（図5）。今回の大統領選挙では、2016年に当選したPSDBの市長らがアルキミン氏の支援に回るとみられています。

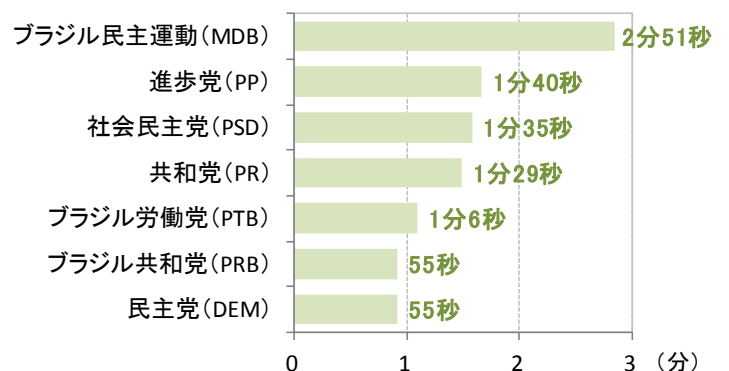
アルキミン氏にとって、選挙戦が始まればテレビ放送や市長からの支援などの面で優位な条件が揃うと考えられます。アルキミン氏の当面の課題は、党内や連立政党からの支持を固め、支持率回復を図ることにありそうです。

図3：大統領選挙の主要候補のテレビ放送持ち時間

主要候補	政党	下院議席数 2014年 選挙後	テレビ 放送時間 (1日当たり)	
			放送時間	構成比
ルーラ	PT	68	3分14秒	12.9%
ジェラルド・アルキミン	PSDB	54	2分37秒	10.5%
シーロ・ゴメス	PDT	20	1分8秒	4.5%
ジャイル・ボルソナロ	PSL	1	18秒	1.2%
マリナ・シルバ	REDE	0	15秒	1.0%
全体		513	25分	100.0%

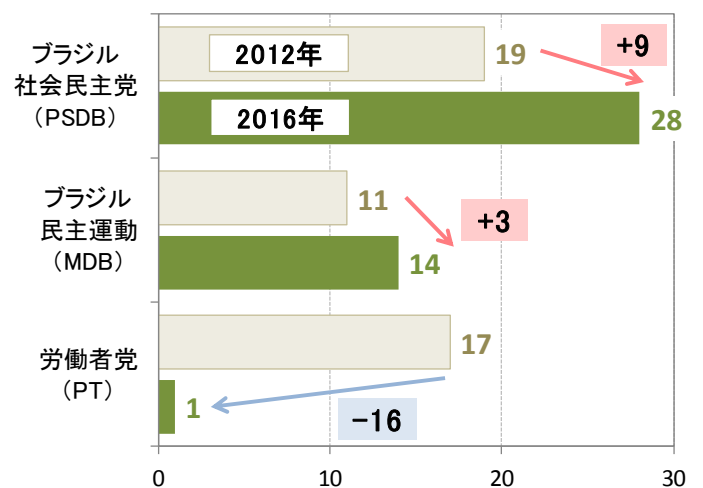
(出所) ブラジル選挙法、各種資料
(注) テレビ放送時間は下院議席数に応じた各政党への比例配分時間と各候補への均等配分時間の合計（推定値）。大統領選挙への最終的な立候補者は10名と想定。

図4：大統領選挙における主要な中道～中道右派政党のテレビ放送持ち時間（1日当たり）



(出所) ブラジル選挙法、各種資料
(注) 下院議席数に応じた各政党への比例配分時間（推定値）。

図5：2016年の市長選挙の当選者数（主要3政党）



(出所) グローブ紙報道
(注) 20万人以上の有権者を持つ大都市での当選市長数。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、レグ・メイソン・アセット・マネジメントの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>